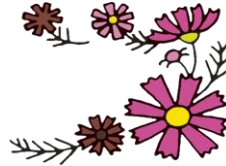




保健・安全だより



令和4年10月1日
幼保連携型認定こども園
第二ふたば園

秋晴れの心地よい季節となりました。秋の自然に触れたり、戸外で元気いっぱい身体を動かして遊びたいと思います。今年度も年2回「保健・安全だより」を発行し、園内で起こった怪我、それに対する対策と流行性の疾患について報告させていただきます。

～怪我についての報告～

・事例1 2歳児 女子

保育室で室内用のバルーンを行う。バルーンの中に入った際に他児の頭と両目がぶつかり強膜が充血してしまう。眼科を受診した。

事例1を職員全体で事故防止の検討をした結果下記のような対策を行っています。

～対策について～

・事例1について

- ・バルーンの中に子どもたちが入る際は職員も入り、中の状態を確認する。
- ・子ども同士の間隔に配慮して遊ぶ。

令和4年度 4月～9月感染症件数

病名	人数
手足口病	17名
溶連菌感染症	12名
ヘルパンギーナ感染症	4名
RSウイルス感染症	1名
ヒトメタニューモウイルス感染症	1名
新型コロナウイルス感染症 (家庭内感染による)	14名

～その他の怪我について～

～乳児～

- ・バランスを崩して膝や肘を擦りむく。
- ・噛みつき、ひっかけ、扉や椅子に指を挟む。
- ・出合い頭に他児と衝突。

～幼児～

- ・戸外で転んで擦り傷が出来る。
- ・室内で机にぶつかる。
- ・つまずいて転ぶ。
- ・噛みつき。

これらの事例を共有し、会議で話し合い怪我防止に努めています。

